

油を注いだマリヤさん

単元1 第1課

聖書 ヨハネ12:1-8、マタイ26:6-13
マルコ14:3-9

暗誦聖句 詩篇63:3

私のくちびるは、あなたを賛美します。

聖書の真理

他の人に親切にすることは、イエスに対する愛を示すことです。



目標
自分のできることで、イエスを賛美するように導きます。

教師へ

主イエスは私たちのために、最も大切なものをくださいました。それは、二番目に大切なものでもなく、残りものでもありませんでした。主が私たちにくださったものは、ご自身の命だったのです。

私たちはこの主の愛を受けているのですから、感謝して最上のものを主にささげていきましょう。私たちのささげる祈り、賛美、時間、お金、賜物、そのすべてが主に喜ばれるものとなりますように。

クラスのために準備するもの

<活動>

- ・子どもたちがよく覚えている賛美1～2曲を選んでおく。
- ・手作り楽器のための材料、「お話の後に」の頁を参照

<聖書>

- ・聖画や絵本「油を注いだマリヤ」
(生徒用テキストにある聖画でもよい)
- ・香水 (またはオーデオロン)

<礼拝>

- ・おもちゃ (新幹線、消防車、積み木など)

<適用>

- ・色鉛筆 (クラスの人数分)



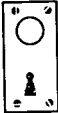
授業例 (60分)

準備

手作り楽器を作るための材料
この課の「クラスのために準備するもの」を参照。

- ①お話の前に 9:00～9:10 (約5～10分)
(活動) ・賛美しようの活動を選んで、初めに手作り楽器を作る。
 - ②聖書のお話 9:10～9:20 (約10分)
導入 ・「ありがとう」を動作で示す。
お話 ・香水のビンを持って、マリヤの動作を真似ながら話をする。
 - ③お話の後で 9:20～9:30 (約10～15分)
(活動) ・賛美しようの活動を選ぶ。初めに作った手作り楽器を使って、賛美する。

―― 静かな音楽 (礼拝に向けて心の準備) ——
 - ④礼拝 9:30～9:45 (約10～15分)
 - ・賛美 (単元の目標に合う歌詞の曲)
 - ・祈り (教師)
 - ・暗誦聖句 詩篇63:3
 - ・礼拝のお話 「かずやくんの赤い消防車」
 - ・献金の祈り (教師と子どもたち)
 - ⑤適用 9:45～10:00 (約10～15分)
 - ・名前を呼んで、生徒用テキストを配る。
(出欠をとることを兼ねる)
 - ・色ぬりをしてから、賛美について伝える。
 - ・暗唱聖句を覚えよう
(意味を説明してから)
 - ・さようなら
- ※教師用の初めにある「この教案を使っていた
だくために」を合わせてご参考ください。



お話の前に

〈活動〉

「お話の前に」の活動は、聖書の導入として使うこともできる。クラスの人数や時間などに合わせて選ぶとよい。

◎賛美しよう

この単元は「イエスに本当の賛美をささげることを目標としています。子どもたちがよく覚えている賛美やイースターの賛美などを1～2曲選んで賛美しましょう。新しい賛美を練習するときは、毎週時間をとってゆっくり覚えるようにしましょう。

「お話の後で」の活動に、手作り楽器の案があります。先に、この時間の内に作り始めておいてもよいでしょう。

◎香油ってなあに

今日の話には香油が出てきます。香水やオーデコロンを代わりに準備して、子どもたちに香をかがせてあげながら説明しましょう。(嫌がる子がいるかも知れません。無理強いしないように注意してください。)

「昔の人たちは、いい香のする香水を髪の毛につけたり、砂道で汚れた足をきれいに洗ってから香水をつけたりしたんだよ。」



聖書のお話

〈導入〉

イエスさまに「ありがとう」と言いたい時にはどうしたらいいのかな。「イエスさま、守ってくれてありがとう」とお祈りできるね。「イエスさま、愛してくれてありがとう」と賛美することもできるね。

今日の聖書のお話に出てくる女の人も、自分にできることで、イエスさまに「ありがとう」を伝えたんだよ。

聖書を開いて、お話を進める。
香水の空ビンなどを使ってマリヤの動作を真似ながら話をしてよい。

〈聖書の話〉

『油を注いだマリヤさん』

ある家に、たくさんの人が集まっています。お客さんが来るので、みんなでお料理を作ったり、お部屋をきれいに掃除したりして準備しているのです。マリヤさんもみんなと一緒に準備していました。

道の向こうから、お客さんたちがやって来ました。イエスさまとお弟子さんたちです。「ようこそ、イエスさま！」みんなは喜んでお迎えしました。マリヤさんも、イエスさまが来るのをずっと楽しみにしていたので、とても嬉しくなりました。

イエスさまの周りにたくさんの人が集まって、楽しい食事が始まりました。でも、マリヤさんは、みんなから離れた所でひとり考えていました。「大好きなイエスさまに会えて嬉しい。何か私にできることはないかしら…。そうだわ、私のいちばん大切にしている物をイエスさまに贈りましょう。」マリヤさんは、イエスさまのために、自分がいちばん大切にしている物を持ってきて、またみんなのいる部屋に入っていました。

部屋の中は、急に良い香でいっぱいになりました。「おや、いい香がするよ。」「どこから香がするのかな。」みんなが見渡すと、イエスさまのそばにマリヤさんがいるのに気がつきました。マリヤさんは、持ってきたつぼのふたを開けて、良い香のする油をイエスさまの頭と足に注ぎました。

それを見ていたお弟子さんは、怒ったように言いました。「なんてもったいない！その油を高く売れば、困っている人たちにお金をあげることができたのに！」

イエスさまは、その声を聞いてこう言いました。「マリヤにそんなことを言うてはいけません。私のために、いちばん良いことをしてくれたのだから、困っている人はいつでも助けることができますが、私はいつでも会えるわけではないのです。」

マリヤさんは、大好きなイエスさまに、自分がいちばん大切にしているものを贈りました。イエスさまは、そんなマリヤさんの気持ちを喜んでくださいました。私たちも自分にできることで、イエスさまに喜ばれることをすることができます。



お話の後で

〈活動〉

「お話の後で」の活動は、聖書の復習にもなる。クラスの人数や時間などに合わせて選ぶとよい。

◎イエスさまをお迎えしよう。

聖書のお話を思い出して、みんなでイエスさまをお迎えしましょう。自分たちの部屋にイエスさまが来られることを想像して、準備してみましょう。（例；ゴミを拾う、椅子や座布団を並べる、スリッパを並べる、紙コップを並べる、など）

せっかく準備するのですから、他の先生にイエスさまの役をお願いしておいて、入ってきてもらうのもよいでしょう。

◎イエスさまに喜ばれることを考えてみよう。

教会ではたくさんの方が、イエスさまに喜ばれることをささげています。みんなで考えてみましょう。（例；教会の掃除をする人、スリッパを並べておく人、朝のあいさつをしてくれる人、聖書のお話を教えてくれる先生、賛美の奏楽者、食事を準備する人、遊んでくれるお兄さんやお姉さん、など）

だれも見えていないところでも、みんなの前でも、どんなことでもイエスさまのためにするのなら、イエスさまは喜んでくださいます。イエスさまに喜ばれることをすることで、イエスさまを賛美することもできるのです。

◎賛美しよう。

この単元は「イエスに本当の賛美をささげることを目標としています。楽器を使ったり、リズムに合わせて手拍子したり、いろいろな表現で賛美してみましょう。子どもたちがよく覚えている賛美を1～2曲選ぶとよいでしょう。

工作の時間があれば、手作りの楽器を作ることできます。自分たちの楽器を使って賛美するのも楽しいでしょう。

（→手作り楽器の案を参考にしてください。）

＜手作り楽器の案＞

→シール、ビニールテープ、色ペン、包装紙、絵の具などを使ってカラフルに仕上げよう。

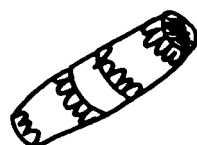
①ベル・シェーカー

ひもに鈴を固定し、手首につける。



②ジングル・クロック

2個の紙コップの中に鈴を入れて振る。



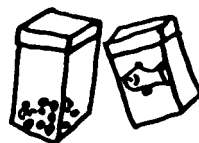
③茶こしのガラガラ

2個の茶こしの中に小石を入れて、外側に鈴をつけて振る。



④シェーカー

空き缶やお茶の缶などに豆や米などを入れて封をして振る。



⑤チューブのガラガラ

アルミホイルやトイレットペーパーの芯に豆や米を入れて両端を紙で封じる。



⑥タンバリン

パイ菓子を作る時に使うアルミホイルの皿の周囲に鈴をつけて振る。



⑦拍子木

かまぼこの板や小さな木材を使う。バンドをつけて互いにたたいて音を出す。





礼 拜

賛 美 単元の目標に合う歌詞の曲
祈 り (教師)

暗誦聖句 詩篇63:3

私のくちびるは、あなたを賛美します。

礼拝のお話

『かずやくんの赤い消防車』

あつしくんとかずやくんは、仲の良い友だちです。ふたりは、部屋いっぱいにおもちゃを広げて遊びます。積み木やブロックを並べて道を作って、おもちゃの電車や車を走らせるのです。あつしくんの大好きな新幹線は、電池を入れるとライトが光って走り出します。かずやくんの大好きな赤い消防車は、はしごが伸びてウーウーとサイレンが鳴ります。ふたりは運転手になったり、消防士になったりして楽しく遊びました。

ところがある日、かずやくんの大好きな赤い消防車が動かなくなっていました。タイヤが回らなくなって、無理に動かそうとするとガチャガチャと変な音がするのです。「ぼくの消防車、こわれちゃったあ…。」かずやくんはがっかりして、消防車を置いたまま帰ってしまいました。あつしくんも、かずやくんと遊べなくなってしまうのがっかりしました。

「この消防車が動けば、またいっしょに遊べるのになあ。」あつしくんは、かずやくんが置いていった消防車のタイヤをちょっとさわってみました。ガチャ、ガチャ…。やっぱり動きません。それを見ていたお父さんが言いました。「見せてごらん、あつし。何かがひっかかっているのかも知れないよ。」お父さんがさわっていると少しして、タイヤの奥からほこりだらけになった輪ゴムが出てきました。この輪ゴムがタイヤにひっかかっていたので動かなかったのです。「わあい、動くようになったよ！ありがとう、お父さん！」

夜ふとんに入ったあつしくんは、寝る前に一日を思い出してお父さんとお祈りをしました。「神さま、ありがとう。かずやくんの消防車が動くようになりました。お父さんが直してくれました。かずやくんとまたいっしょに遊べます。アーメン。」

次の日、あつしくんは動くようになった消防車を持って、かずやくんの家に行きました。か

ずやくんはとても喜んでくれました。そしてふたりはまた、積み木やブロックで道を作って、大好きな消防車と新幹線を走らせて楽しく遊びました。

お話と同じ名前の子がクラスにいるようなら別の名前を使う。おもちゃは身近にあるものを代用してもよい。

献金の祈り(教師と子どもたち)

イエスさまに賛美する心で、献金します。



適 用

→生徒用テキストを配る

〔聖画の説明〕

聖画を見ながら、聖書のお話を短く復習しましょう。「マリヤさんが、イエスさまの頭に良い香りのする香油を注いでいます。マリヤさんは自分にできることで、イエスさまをさんびしました。」

〔生徒用テキストの説明〕

裏頁にある『ぬってみましょう』を使います。

○マークと△マークを別々の色鉛筆でぬり分けると「さんび」の文字が表れます。文字を習う前の子どもたちがほとんどでしょうから、「さんび」と読むことを教えましょう。

子どもたちがよく知っている賛美を1～2曲選んで賛美します。イエスが、私たちの賛美を喜んでくださることを、子どもたちに伝えましょう。

〔暗唱聖句を覚えよう〕

詩篇63:3

私のくちびるは、あなたを賛美します。

単元1の工作

『イースターツリーをつくろう』

生徒用テキスト第4課の次頁にあります。単元1第1～4課の学びに合わせた工作ですので、復習や工作活動などのために自由に用いてください。